

### 新春対談

# 改革をとめるな

## 今、求められるのは小さな政府

松本文明衆議院議員

佐野れいじ中野区議会議員

の時代はスピードが求められていて、政府の決断にもそのが必要で。

佐野 今回、先生が所属された委員会はどこですか。

松本 国土交通委員会です。中野区に限って言えば、西武線の高架の問題、河川の改修、中野通りや環6の工事を含めた街づくり。また中野区は災害に弱いという特徴があるので、その改善。警察大学跡地の利用など、いろいろやらねばならない事が多いので国土交通委員会を希望しました。

佐野 地元にとってもプラスになるので、大いに期待しています。

松本 東京でいえば、石

### 23区の壁を破り中野区独自の改革を



佐野れいじ 区議

原知事が2016年のオリンピックを招致していますね。メインスタジアムが都心になるのか多摩になるのか分かりませんが、今の渋谷(代々木)が使用会場になるのは間違いありません。同時に東京の首都機能を先進諸国に負けないようにパーク・ゾーンアップしていくのも国土交通委員会の仕事であり、今後の課題でもあります。また、社会問題化した耐震偽装問題でも当委員会が参考人質疑を行い、私も委員として厳しく追及しました。佐野 私も区民の安心安全のため、区内のマンション全棟調査が必要だと思っています。

佐野 次に、小泉改革の主眼である大きな政府から小さな政府へ、官から民へがクローズアップされていますが、なぜ今、小さな政府が必要なのでしょう。松本 ご存知のように、この国は昭和30年代から50年代まで右肩上がりの経済発展を重ねてきました。行政システムもどんどん肥大化していききました。ところがバブルがはじけ、極端な経済発展は望めない時代となり、民間ではリストラや合理化をしなければ生き残

### 佐野れいじ 中野区決算特別委員会 質問要旨

中野区議会の決算特別委員会で、佐野れいじ議員(自・民)が質問に立った(9月29日)。同議員は、1、財政について 実質収支比率 経常収支比率 公債費比率 人件費比率 2、人件費・超過勤務・成果と評価制度について 3、職員のモチベーションについて 管理職選考受験 職員の世代間構成 おもてなし運動 4、未収金について 区民税 健康保険 5、中野区民の情報の格差是正について 2011年のデジタル化に向けて の5項目について1時間半にわたって区の見解を質した。本号では紙面の都合により、要旨を載せ、一部をカットした。

#### 余剰金を区道の補修費などに充てれば、妙正寺川の水害もある程度防げたはずだ

佐野れいじ 中野区の実質収支で16年度28億7900万円の余剰金が出た。黒字は結構だが、適度の余剰を超える部分は区民福祉の向上や、公共施設の整備などに充てるべきではないか。例えば、9月4日の水害で妙正寺川の護岸が崩れたが、これは老朽化が進み、ひびが入っているところが何か所もあったと聞いている。区道の補修費を削減してきた結果だ。余剰金が見込まれるなら、こういうところに予算を計上すべきではないか。

財務担当課長 16年度予算は、14年度決算ベースで予算の枠を設定したので、歳出の抑制を図ったことから、区道の改良や護岸の改修に従来通りの計上しかできなかった。18年度予算では認識を新たにしてい取り組んでいきたい。

佐野れいじ 人件費比率23区の平均は27%という現実があるのに中野区では18年度30%というのはいかがなものか。私は以前、民間企業の人事を担当する部の責任者であったが、民間では人件費比率が25%を超えると、その会社は危ないと言われている。

財務担当課長 人件費比率が3割を切るような今後の取り組み、またはいろんな分析をしていきたいと考えている。

#### 増え続ける残業代5億超(16年度)、平日の22時以降は50歳代で時給4377円

佐野れいじ 区は、目標と成果による管理を行ってきたいと明言している。やる気のある職員に残っていただき、やる気のない人は去っていただくというノーワーク・ノーペイの原則というが大切であり、このくらい強

#### 年功給与ではなく成果に基づいた中野区独自の給与体系を!

人事担当課長 行政需要が増大する中で職員一人一人の仕事量が増えている。また職員の年齢構成が上昇し、超勤手当の時給単価も上昇していることが原因だと思っている。

佐野れいじ モチベーションに関連してだが、成果主義を取り入れるなら、成果・評価・処遇のこの三つが一体にならないとやる気は起これないと思う。人事課から貰った資料の中で37歳の管理課長がいる。36万6300円の基本給だ。その部下に47歳の総括係長がいて、42万

9200円、調べてみると、現行のシステムだと、この課長は退職まで基本給で部下を追い越すことが出来ない。まさに年功給与である。努力して課長になっても、10歳年上の総括係



9月19日中野区決算特別委員会で質問をする、佐野れいじ

佐野区議会議員 総選挙でのご当選、おめでとございます。松本衆議院議員 ありがとうございます。お陰で当選できました。

佐野 早速ですが、先生はこれまで都議会から国政に移られて如何ですか。特に変わった点は。松本 沢山ありますが、まず議員数が多いなあというのが実感です。与党だけで300名を超えていて、その分、意見集約に時間が

かかります。スピード感を持つことがこれからの課題の一つでしょうね。佐野 都議会とは数の上からも違うということですね。松本 都議会の場合は定数127名で自民党は50名余。東京の中では住環境や産業、まちの成り立ちにもそれほど違いがありませんが、全国となると地域地域の政治要求に差がでてくる。意見集約が難しく時間がかかるのも分かりますが、今

佐野 よく分かりました。中野区の場合も財政が厳しい、年間一般会計、900億円前後ですと予算を組んでいます。人口もここ10年くらい30万から31万で推移しています。いろんな問題がありますが、特に財政立直しの一つとして、私はノーワーク・ノーペイの原則に従った人件費の削減と人員削減が急務だと思っています。しかし改革を進めようとしても、23区の人